

2019年3月期  
決算説明資料

YOSHITAKE 

JASDAQ

Listed Company 6488



# 2019年3月期 決算概要

# 2019年3月期の総括



国内経済は個人消費においては堅調な所得環境を受け緩やかな回復傾向が続きました。企業部門においては、企業収益、設備投資は人手不足に伴う省人化・自動化投資が下支えとなり、底堅く推移しました。今後については、国内経済は消費税率引き上げによる影響等が懸念されるものの、新天皇陛下即位と新元号制定が景況に与えるプラス効果が期待されます。海外経済は前期に引き続き、米中の貿易摩擦をめぐる緊張感の高まり等により依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおいては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました。国内顧客向け販売においては、工場設備における蒸気配管システム内の温度・圧力・流量などの計測データをワイヤレスでモニタリングできる流体監視システム「Wi-Flo」を発売開始し、高い評価をいただくとともに販売活動を牽引しました。また海外顧客向け販売においては、米中の貿易摩擦による影響が懸念されたものの、中国や北米地域での販売を伸ばすなど、販売活動全体としては好調に推移しました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開いたしました結果、連結売上高は70億8百万円となり、前期に比べ3.2%の増加となりました。

損益面では、営業利益は6億2百万円(前期比13.1%減)、経常利益は8億22百万円(前期比2.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億21百万円(前期比11.5%増)となりました。

1. 工数低減やコスト削減を強力に推し進めたものの、生産移管に伴う一時的な生産コストの増加等により、売上総利益および営業利益は減少
2. 米国関連会社の増益に伴い持分法による投資利益は増加し、営業外収益は増加したものの、営業利益の減少を補うには至らず経常利益は減少
3. 連結子会社の固定資産売却益などの特別利益により親会社株主に帰属する当期純利益は増加

# 2019年3月期の連結貸借対照表



(単位:千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	6,934,501	7,308,259	373,758
有形固定資産	3,788,175	3,805,421	17,246
無形固定資産	70,286	55,351	△ 14,935
投資その他資産	1,932,098	2,110,618	178,519
固定資産	5,790,560	5,971,390	180,830
資産合計	12,725,061	13,279,650	554,589
流動負債	1,155,471	1,190,908	35,436
固定負債	838,601	772,483	△ 66,118
負債合計	1,994,073	1,963,391	△ 30,681
純資産合計	10,730,988	11,316,259	585,270
負債純資産合計	12,725,061	13,279,650	554,589

# 連結貸借対照表主な変動要因



## 流動資産の増加

受取手形及び売掛金の増加

たな卸資産の増加

## 投資その他資産の増加

投資有価証券の取得等により増加

## 純資産合計の増加

親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益  
剰余金が増加



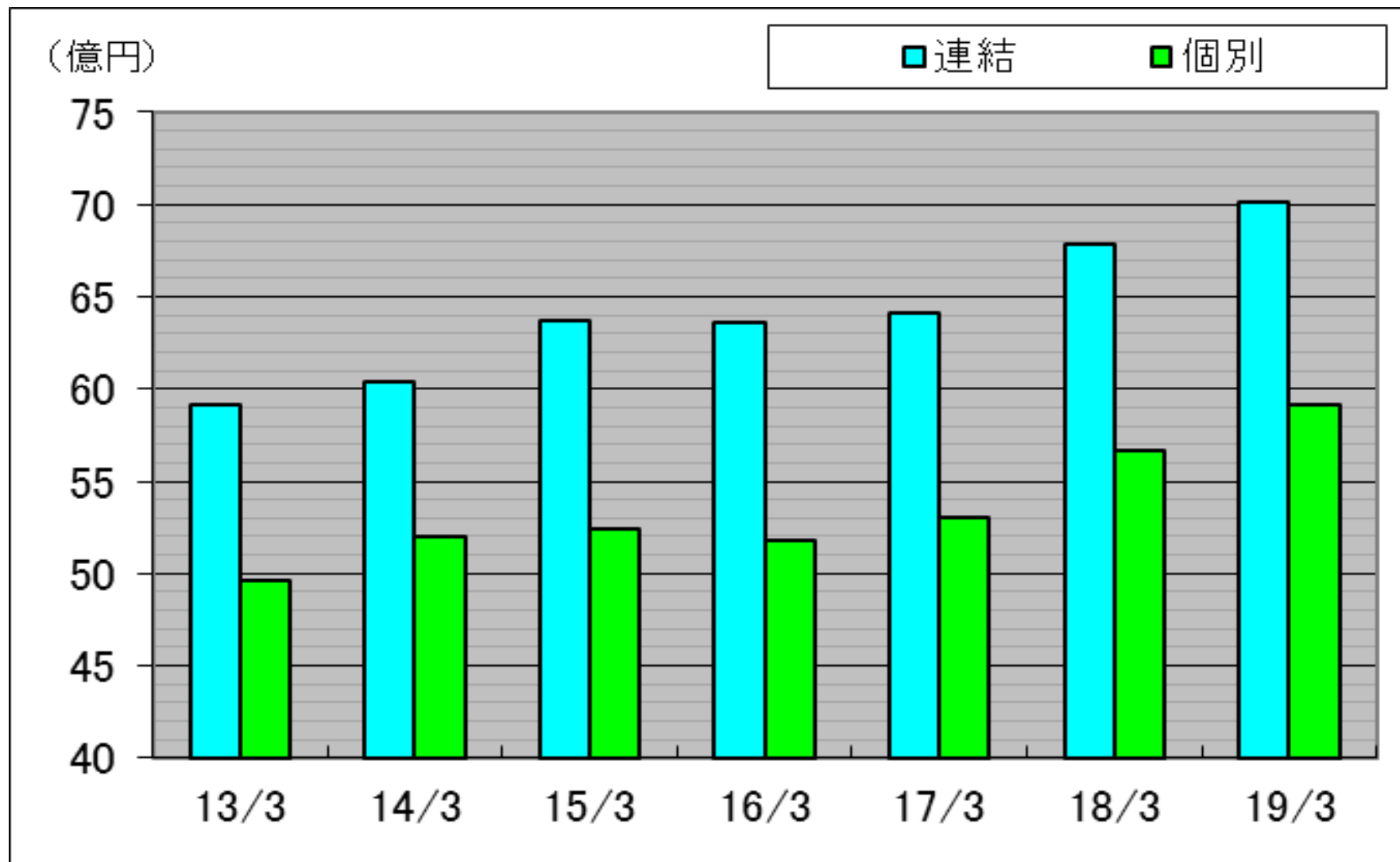
# 2019年3月期の連結損益計算書



(単位:千円)

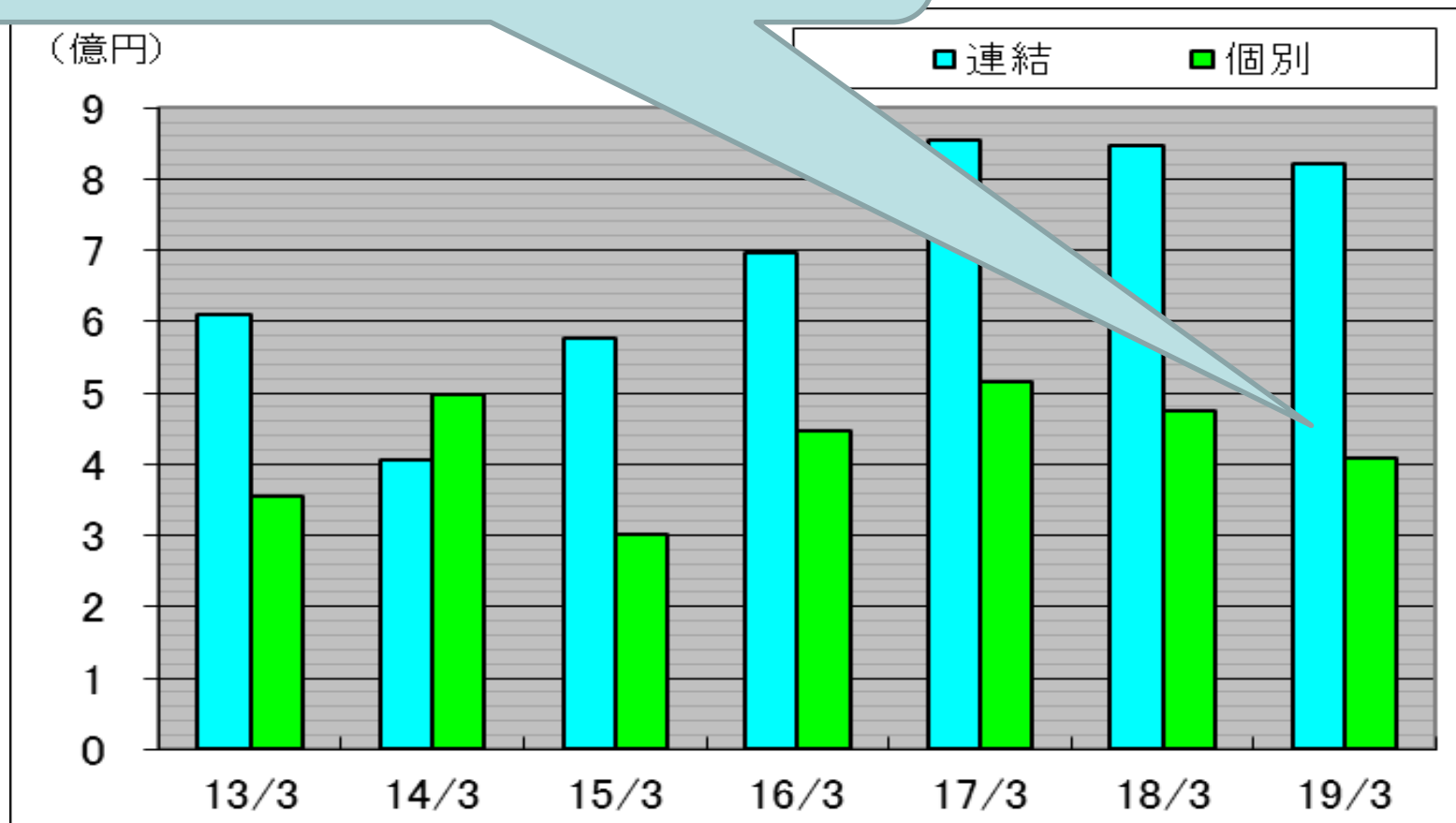
	前期	今期	増減額
売上高	6,787,922	7,008,188	220,265
売上原価	3,982,771	4,232,876	250,104
売上総利益	2,805,150	2,775,311	△ 29,839
販売費及び一般管理費	2,111,788	2,172,470	60,682
営業利益	693,362	602,841	△ 90,521
営業外収益合計	229,133	269,260	40,127
営業外費用合計	75,107	49,195	△ 25,911
経常利益	847,388	822,906	△ 24,482
特別利益合計	—	119,871	119,871
税金等調整前当期純利益	847,388	942,777	95,388
法人税、住民税及び事業税	182,526	155,848	△ 26,677
法人税等調整額	8,448	53,625	45,177
当期純利益	656,414	733,303	76,888
非支配株主に帰属する当期純利益	9,142	11,425	2,283
親会社株主に帰属する当期純利益	647,271	721,877	74,605

# 売上高の推移

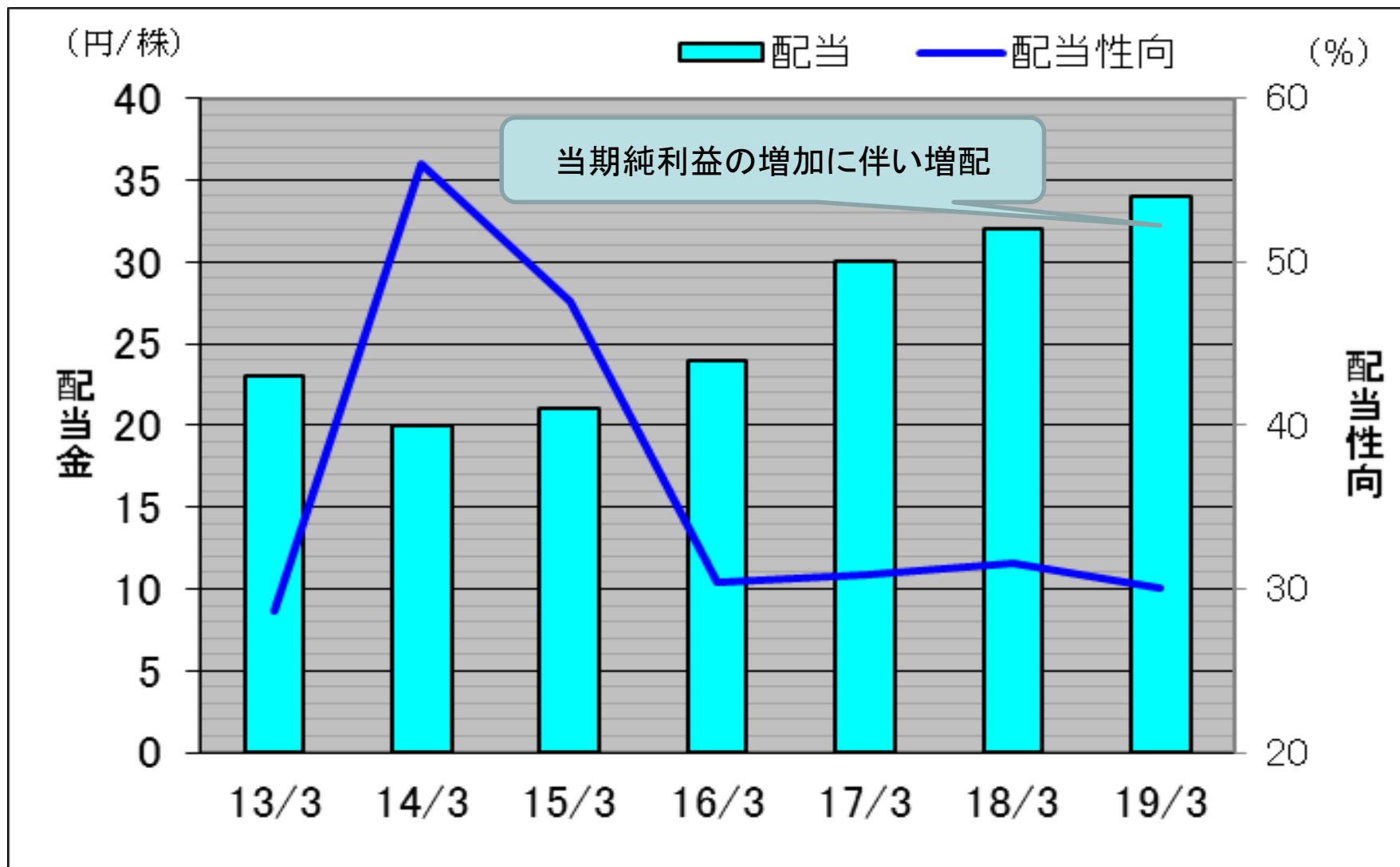


# 経常利益の推移

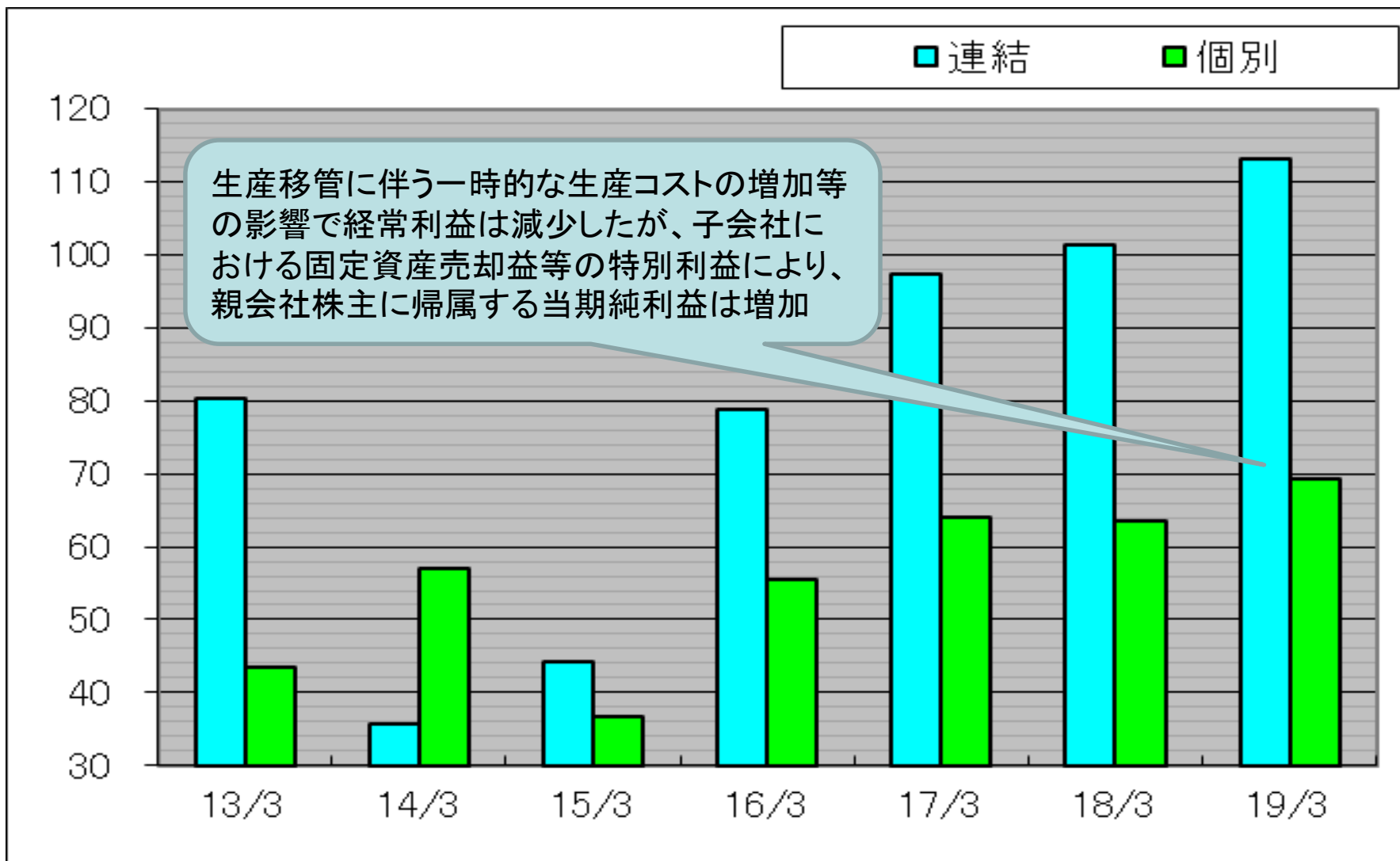
売上は増加したものの、生産移管に伴う一時的な生産コストの増加等により売上総利益および営業利益は減少。持分法による投資利益の増加等により営業外収益は増加したものの、営業利益の減少を補うには至らず経常利益は減少。



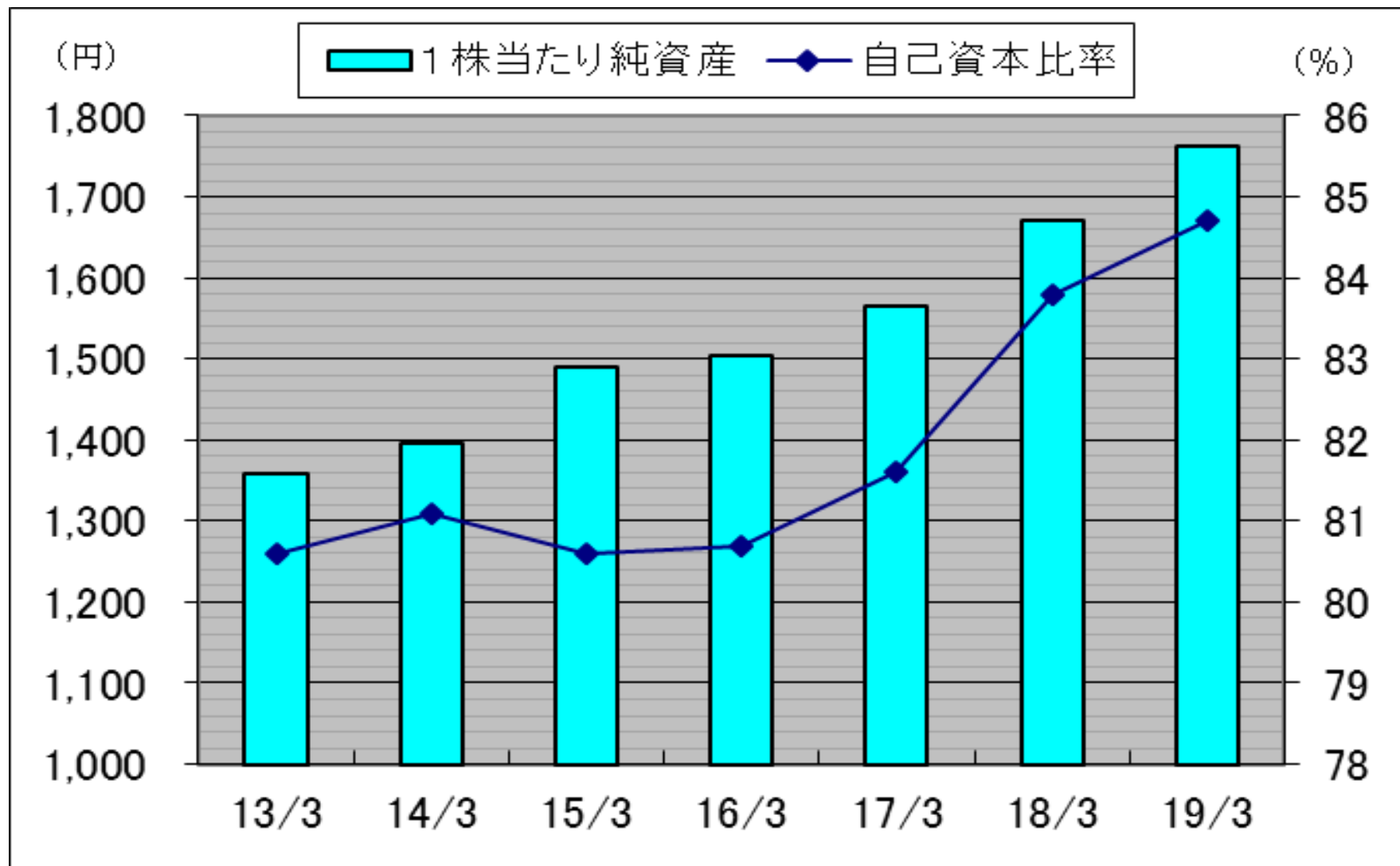
# 1株当たり配当の推移



# 1株当たりの当期純利益の推移



# 1株当たり純資産(連結)の推移



# 関係会社の業績は好調です。



子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

**Yoshitake Works (Thailand) Ltd. 100%所有** (タイ国における製造子会社:各種バルブ製造)

**カワキ計測工業株式会社 100%所有** (日本における製造子会社:流量計の製造)

**ヨシタケアームストロング株式会社 50%所有**

(日本における販売子会社:米国アームストロング社製品の販売)

**Armstrong Yoshitake, Inc. 50%所有** (米国における販売関連会社:当社製品の販売)

**Everlasting Valve Company, Inc. 50%所有** (米国における製造関連会社:特殊バルブの製造)

※ 2018年1月9日をもって解散しました宏洋サンテック株式会社は、2018年9月19日に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。



# 2020年3月期 業績予想



# 2020年3月期業績予想



(単位: 千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	7,008,188	7,250,000	241,812
営業利益	602,841	650,000	47,159
経常利益	822,906	940,000	117,094
税金等調整前当期純利益	942,777	940,000	△ 2,777
親会社株主に帰属する当期純利益	721,877	760,000	38,123

# 2020年3月期業績予想の概要



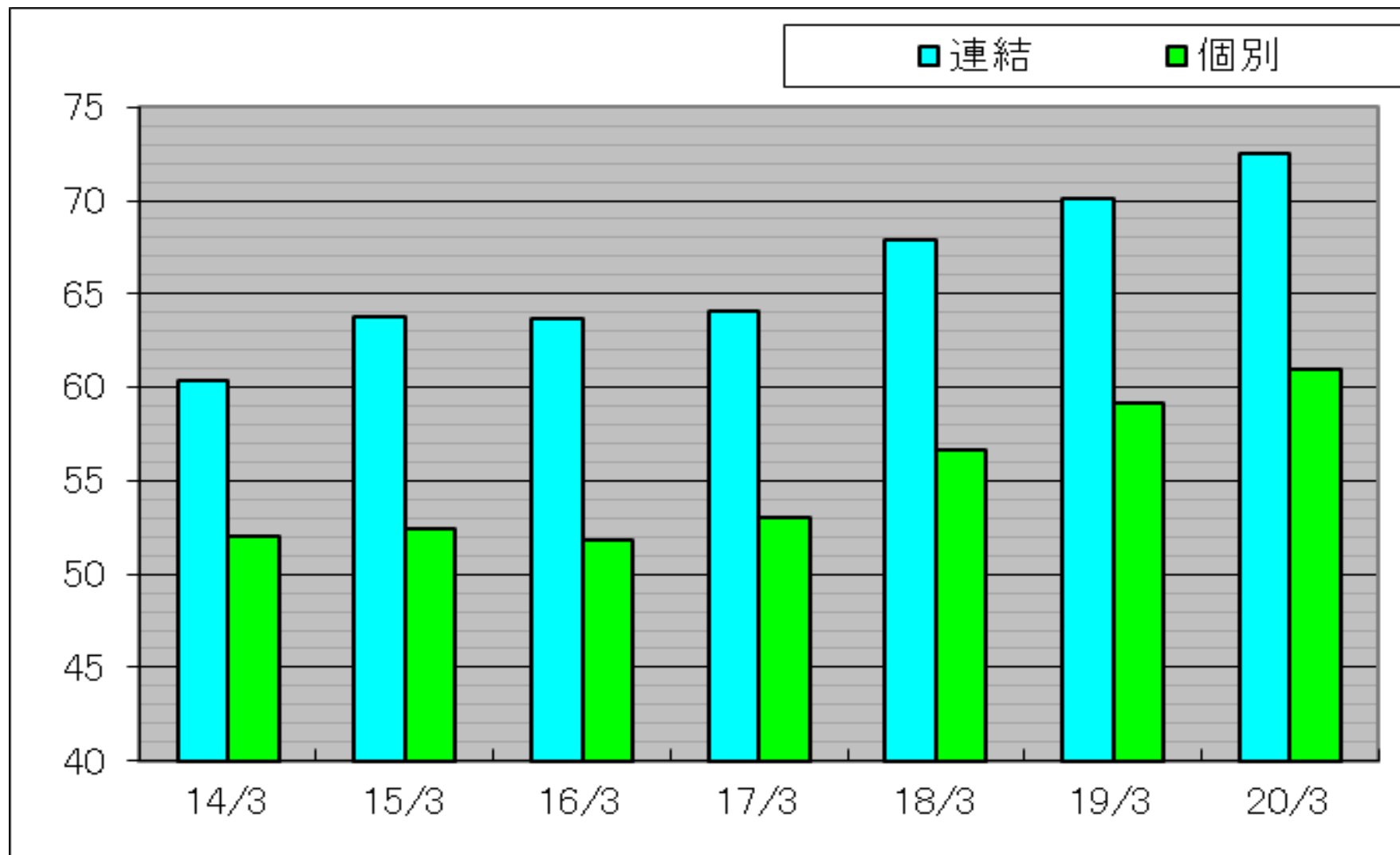
## 連結売上高：

国内、海外ともに不透明性があるものの緩やかながら回復基調が継続すると見られる中、より高度な提案営業を推進していく中で収益構造は改善を継続すると見込まれ、連結売上高は72億50百万円(当期比3.5%増)を予想しております。

## 損益：

景気回復に伴う物価上昇が素材価格に与える影響など懸念があるものの、当社グループ一丸となり生産活動全体の合理化とコストダウンに取り組む所存です。

# 売上高の推移



# 対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、  
経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 海外販路の拡大
2. 建築設備物件の受注率の向上
3. 提案型営業の推進
4. 生産リードタイムの短縮
5. 生産キャパシティの拡大

# 配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当事業年度(第76期)につきましては、1株当たり34円の配当金とさせていただきます。

# 企業理念



## フェア ビジネス

### Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。



**本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。**